

**当院で施行した前立腺癌に対する放射線治療の治療成績、
有害事象等に関する後ろ向き研究**

1. 研究の対象

2004 年 1 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までの間に、秋田大学医学部附属病院において前立腺がんに対する放射線治療（体の外から放射線をあてる治療、または体の中から放射線をあてる治療）を受けられた方。

2. 研究目的・方法

現在、前立腺がんに対して放射線による治療が広く行われており、手術と同じかそれ以上の優れた効果が認められています。近年では、医療機器や技術の進歩にともない、よりピンポイントで効果的に放射線をあてる「強度変調放射線治療（IMRT）」や、1 回の照射量を増やして治療回数を少なくする「寡分割照射（かぶんかつしょうしゃ）」といった、体に優しく効果が期待できる新しい治療法が導入されています。

本研究では、当院で前立腺がんの放射線治療を受けられた患者さんを対象に、これらの進歩した治療法を行うことで、従来の治療法と比べて「がんが治る割合（奏効率）」や「生存期間（予後）」がどのように向上したか、また「副作用（有害事象）」がどのように軽減されたかを調査します。さらに、治療や副作用への対応にかかった医療費についてもあわせて検討します。この研究を通じて、今後のより効果的な治療戦略の組み立てや、予想される副作用への適切な対処法を確立し、将来の医療の発展に貢献することを目指しています。

当院の電子カルテシステムなどの診療録（カルテ）から、過去の治療経過や今後の経過に関するデータを集め、統計学的方法を用いて分析を行う後ろ向きの観察研究です。本研究は、これまでの通常の診療で得られた情報のみを使用するため、患者さんに新たな検査や処置などの負担、追加の費用が発生することはありません。

研究実施期間：研究実施許可日 ～ 2032 年 3 月 31 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026 年 8 月 26 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、これまでの病歴、画像データ（レントゲンや CT など）、診断日、血算、生化学検査、腫瘍マーカー、病理所見（検査した組織の結果）、放射線治療の内容、治療後の経過、副作用の発生状況、他の病院からの紹介状、医療費に関する情報、など

※患者さんのお名前やカルテ番号などの個人を直接特定できる情報は、研究用に新しく割り振られた別の番号（研究対象者識別番号）に置き換えて厳重に管理し、個人情報が出漏れないよう最大限の対策を講じます。

本研究では、血液や手術で摘出した組織などの「試料」は使用しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所： 〒010-8543 秋田県秋田市広面字蓮沼 44-2

担当者の所属・氏名： 秋田大学医学部附属病院 中央放射線部 助教 熊谷 聡（研究責任者）

電話番号： 018-884-6378（平日 9 時～17 時）

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 宮腰 尚久